



2023年9月14日

各位

会社名 トラストホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山川 修
 (コード番号: 3286 東証グロース・福証Q-Board)
 問合せ先 常務取締役 北嶋 重晴
 (TEL. 092-437-8944)

上場維持基準への適合に向けた計画

当社は、2023年6月30日時点において、東京証券取引所グロース市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

2023年6月30日時点における東京証券取引所グロース市場の上場維持基準に対する当社の不適合項目及び適合に向けた各種取り組みの計画期間は、下表のとおりであります。

		時価総額
当社の適合状況	2023年6月末時点	1,663,089,580円 (不適合)
上場維持基準		4,000,000,000円
計画期間		2025年6月末まで

- (注) 1. 上表については、2023年7月7日付けで株式会社東京証券取引所から受領した書面「上場維持基準(時価総額基準)への適合状況について」に基づき、不適合項目のみを記載しております。
2. 時価総額の算出にあたっては、事業年度の末日以前3か月間の日々の最終価格の平均値319.54円(小数点第三位以下、省略)を採用し、実際の計算においては、小数点第三位以下も含めて算出しております。
3. 当社は、福岡証券取引所Q-Board市場にも重複上場しておりますが、同市場における時価総額の上場廃止基準は200,000,000円であります。

2. 上場維持基準への適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

上記の不適合事項である時価総額基準を充足するための基本方針、課題及び取組は、以下のとおりであります。

(1) 基本方針

当社は、当社グループの業績拡大、持続的な事業成長、その他企業価値向上のための様々な施策を実行するとともに、投資家や株主の皆様に向けたIR活動の充実や資本政策の実行等にも積極的に取り組むことで、時価総額の向上を図り、上場維持基準への適合を目指す方針であります。

(2) 課題

当社の時価総額が低水準である要因としては、東京証券取引所グロース市場に要求される高い成長性を市場に示すことができていないこと、また、市場における当社の認知度や期待度が低いことが挙げられます。

(3) 取り組み内容

時価総額の向上のための取り組み内容は、以下のとおりであります。

① 収益力の向上

当社グループは、主力である駐車場事業、駐車場等小口化事業及び不動産事業に加え、多様な地域ニーズに応えるため各種事業を展開しております。これら各事業の収益力向上による業績拡大が、時価総額に直結するものと考えております。

当社は、収益力向上のためには、売上高及び利益率を重要な指標と捉え、売上高経常利益率をKPIに定めております。

売上高については、主力である駐車場事業における「駐車場車室数」、駐車場等小口化事業における「預かり資産」、不動産事業における「新築マンション引渡戸数」を重要な指標とし、売上高の向上のため、中長期的に各指標の目標達成に向けた進捗管理を行ってまいります。

利益率については、企業価値、競争優位性、付加価値等を測るための重要な指標となります。主力である駐車場事業における各駐車場の利益率の改善のほか、駐車場用地の借上及び駐車場機器の仕入れ、駐車場等小口化事業における不動産等の仕入れ、不動産事業におけるマンション用地の仕入れ及び建築コスト並びに各事業における資金調達コスト等を抑えることで、利益率の向上を図ってまいります。

中長期の具体的な取り組みは、本日公表しました「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載しております。今後3年間の数値計画は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2023年6月期 (実績)	2024年6月期 (計画)	2025年6月期 (計画)	2026年6月期 (計画)
売上高	13,418	13,800	14,200	14,600
営業利益	569	620	640	660
経常利益	510	520	550	600
当期純利益	239	300	350	400

② IR活動の強化

時価総額の向上のためには、IR活動の強化により、当社の認知度を向上させることが必須と考えております。

当社は、ホームページや決算説明動画等、IR活動の積極化に取り組んでおります。今後も、能動的かつ多面的にIR活動の強化に取り組むことにより、一人でも多くの株主や投資家、市場関係者の皆様に当社の認知及び理解を促していく所存であります。

③ 株主還元

時価総額の向上のためには、株主の皆様への適正な利益還元を通じ、投資対象として魅力のある銘柄と認知いただくことも有効であると考えております。

当社は、上場後、企業体質の強化及び事業成長のための内部留保の充実を図りつつ、安定的かつ継続的に配当を実施しております。なお、2023年6月期の配当につきましては、中間配当5円及び期末配当10円（普通配当7円（2円増配）及び創業30周年記念配当3円）の合計15円を予定しております。2024年6月期においては、中間配当及び期末配当を8円へ引き上げ、年間配当を16円とする予定であります。

また、当社の認知度向上のために、株主優待についても継続的に検討してまいります。

④ その他

その他、資本政策（例：自己株式、株式分割、立会外分売等）の検討、SDGs やサステナビリティ（例：社会・地域貢献、職場環境の整備等）の推進、コーポレート・ガバナンスの充実、コンプライアンス活動及びリスクマネジメントの強化等の積極化により、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

3. その他

当社は、上記の取組みにより、東京証券取引所グロース市場における時価総額に係る上場維持基準への適合を目指すとともに、東京証券取引所スタンダード市場への市場変更も視野に入れて、企業価値の向上に取り組んでまいります。

以 上